

2024年1月15日
TREホールディングス株式会社

令和6年能登半島地震の影響について(第二報)

この度発生しました令和6年能登半島地震において亡くなられた方々のご遺族に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、今なお厳しい環境下でお過ごしの皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社グループの影響等につきましては、[1月4日](#)にお知らせしておりますが、その後の状況等について以下のとおり続報申し上げます。

1. 設備等への被害状況について

(1) 柵門前クリーンパーク(石川県輪島市):

震源に近い当管理型処分場においては、以下に述べますように少なからぬ被害を受けております。一方、本年1月中旬の開業を予定していたため、まだ廃棄物を埋め立ててはならず、廃棄物流出等の懸念はございません。

- ① 搬入路にあたる輪島市道、その上側の斜面を並走しております国道 249 号は、共に数十メートルに渡る土砂崩れによって寸断され、車両、重機が通行出来ない状況が続いております。安全に十分配慮することを前提として、今月内の開通に向けて建設会社等にもご尽力頂いているところです。
- ② 処分場に敷設している遮水シートの破損は現時点で確認されておませんが、一部、路面の隆起等によるずれが見られます。水処理施設においては、外壁が一部、崩壊しておりますが、薬剤の外部流出はありません。管理棟においては、キャビネット等の事務機器が転倒しておりますが、外装に大きな破損は確認されておませんが、また、構内舗装道のアスファルトや覆土仮置場等のひび割れ、法面緑地部分、防災調整池を囲うフェンス等の損壊が一部発生しております。

これらへの対応として、施工を担当した建設会社等も立ち入りの上、共同で復旧作業のスケジュールを策定済みであり、概ね6カ月後の開業を目指し、グループを挙げて取り組んでまいります。

(2) 柵北陸環境サービス(石川県金沢市):

本社事務所および収集運搬車両拠点、管理型処分場のいずれも被害は軽微であり、廃棄物の受け入れには支障ございません。1月5日より通常業務を行っております。柵門前クリーンパーク開業までの期間におきましては、同社処分場を中心として、復旧・復興支援事業に全力を挙げて取り組んでまいります。

2. 災害復旧、復興支援事業について

報道にもありますとおり、応急初動として人命救助及び捜索、ライフライン復旧(生活ごみ、仮設トイレ等)が最優先とされております。当社グループも、グループ各社より3台のごみ収集車を派遣しております。今後、順次、廃棄物の撤去および仮設置き場への搬入が始まる見込みであり、行政と(一社)石川県産業資源循環協会及び会員同業者とも緊密な連携の上、グループ内からの作業人員の派遣を行ってまいります。また、震源から近く、より被害が深刻な輪島市、珠洲市などの奥能登の市町エリアにつきましては、(株)北陸環境サービス、(株)タケエイ(東京都港区)が担当する予定で、本格的な復興支援事業への準備を進めているところでございます。

3. 業績への影響について

門前クリーンパークの開業は、半年後を想定しており、当管理型処分場の復旧工事に関する影響額についてはなお精査中です。グループ全体による復興支援事業に関わる影響額と併せ、明確となりました時点で、適時に情報を開示してまいります。

「地球の環境保全に貢献する。」を企業理念として掲げる当社グループは、東日本大震災の復興プロジェクトでは約3年にわたり大規模な人員派遣を行い、福島県の復興プロジェクトには今なお携わっております。その他、2019年に東日本を直撃した台風15号及び19号による災害対応、2021年、2022年に発生した福島県沖地震に関する復興支援事業等にも、当地に所在するグループ会社、事業拠点が中心となって対応した経緯がございます。

私どもは「総合環境企業」として、これまでに蓄積した経験やノウハウを結集し、可能な限り迅速、的確に展開することで被災地域の復旧・復興に役立てるよう、役員、従業員一体となって取り組んでまいります。

以上